

岡山天体物理観測所の現況

2012-08-07

泉浦秀行

国立天文台岡山天体物理観測所

+

今田明、**浮田信治**、沖田喜一、神戸栄治、黒田大介、
小矢野久、坂本彰弘、清水康広、**筒井寛典**、戸田博之、
福井暁彦、柳沢顕史(五十音順、**赤字**は岡山UM初登場)

人の動き（H23年8月以降）

● 新規加入

- 福井暁彦（10月：外部資金雇用研究員採用）
- 筒井寛典（2月：研究支援員採用）
- 浮田信治（4月：光赤外研究部から移籍）

● 異動・職種変更（H23年8月以降）

- 清水康広（4月：特定技術職員 → 研究支援員）
- 小矢野久（4月：研究技師 → 主任研究技師）
- 福井暁彦（4月：外部資金雇用研究員 → プロジェクト枠研究員）
- 今田 明（4月：一般枠研究員 → 外部資金雇用研究員）

● 事務係長交代（4月）

- 難波義人 → 佐藤隆史（昇任）

現職員：19名＋1名（ 研究教育職3、研究技術職：3、特任助教 1、専門研究職員1、研究員2、研究支援員3、事務係長1、事務支援員3、業務支援員2、派遣職員1 ）

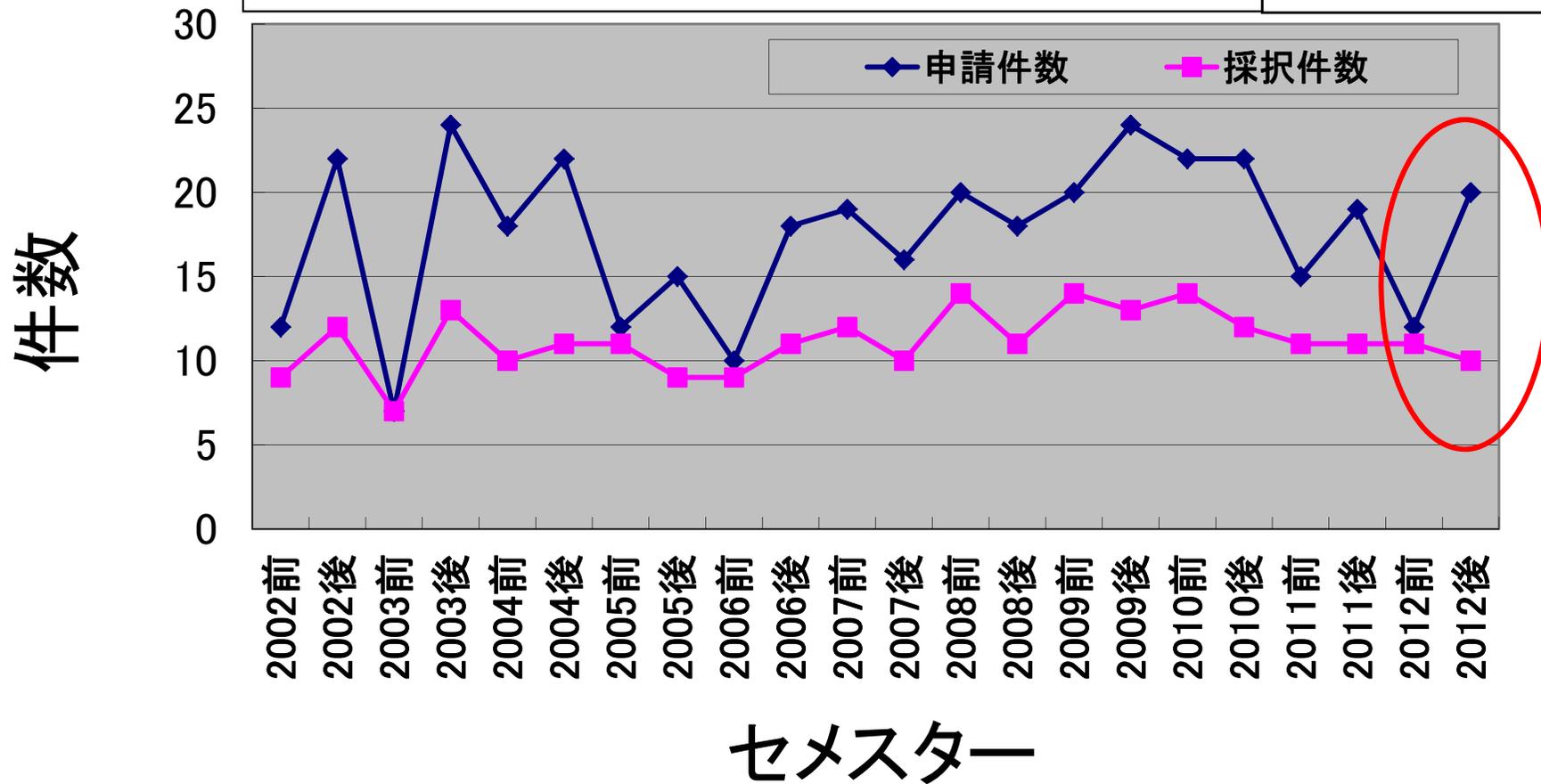
平成24年度予算

- ・平成24年度は昨年度に比べ、長期的運用経費で約500万円の減額(全台的事情)。
- ・人件費を除き、今年度限定の短期的経費も含めた平成24年度の運用経費の台内当初配分額はおよそ6700万円。
- ・光学赤外線大学間連携事業予算
- ・科研費基盤A 2910万
- ・総額では昨年度を上回る

共同利用申請件数と採択件数

競争率～1.5倍(平均)

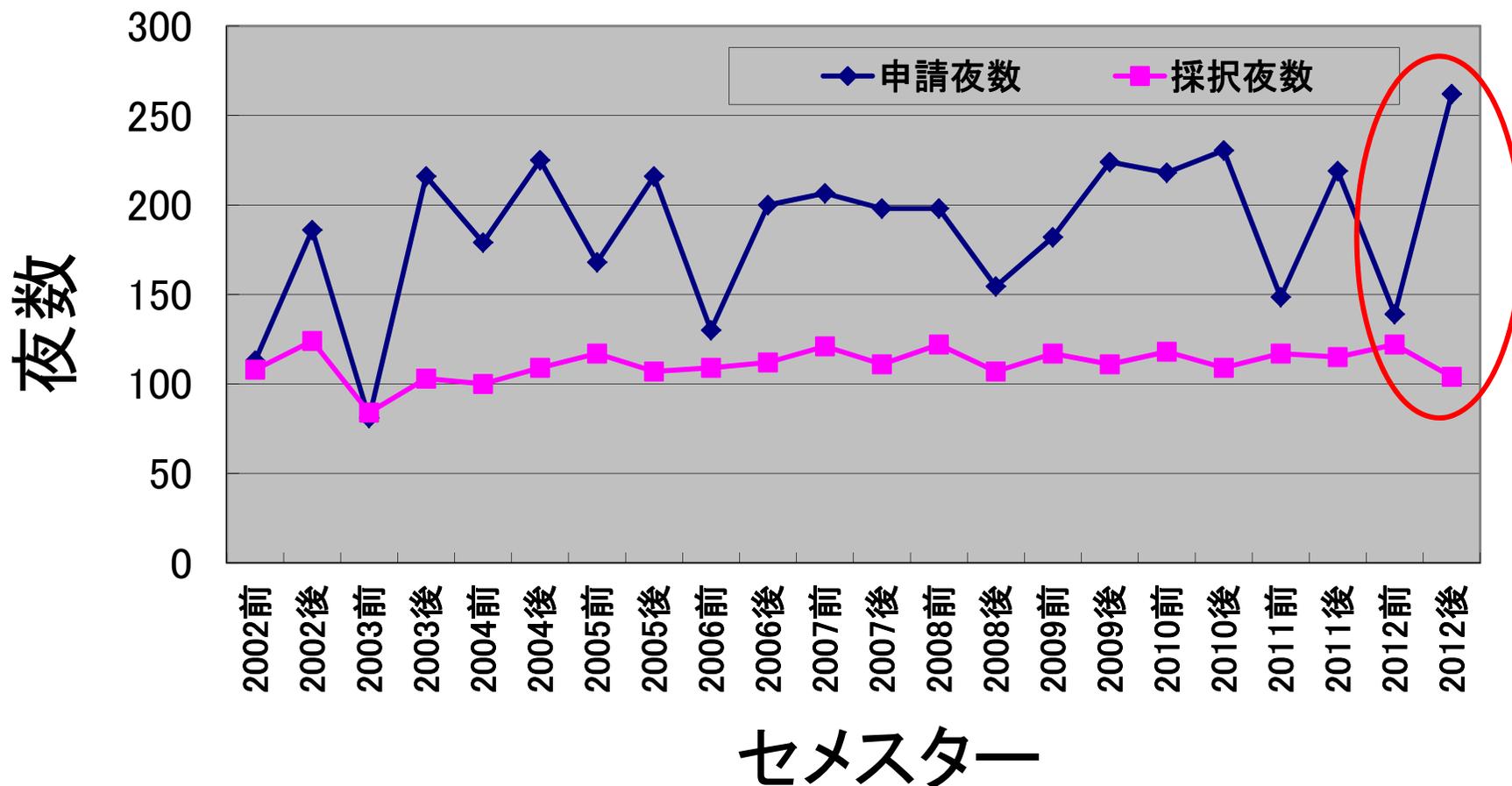
前期に～1倍となりやすい傾向



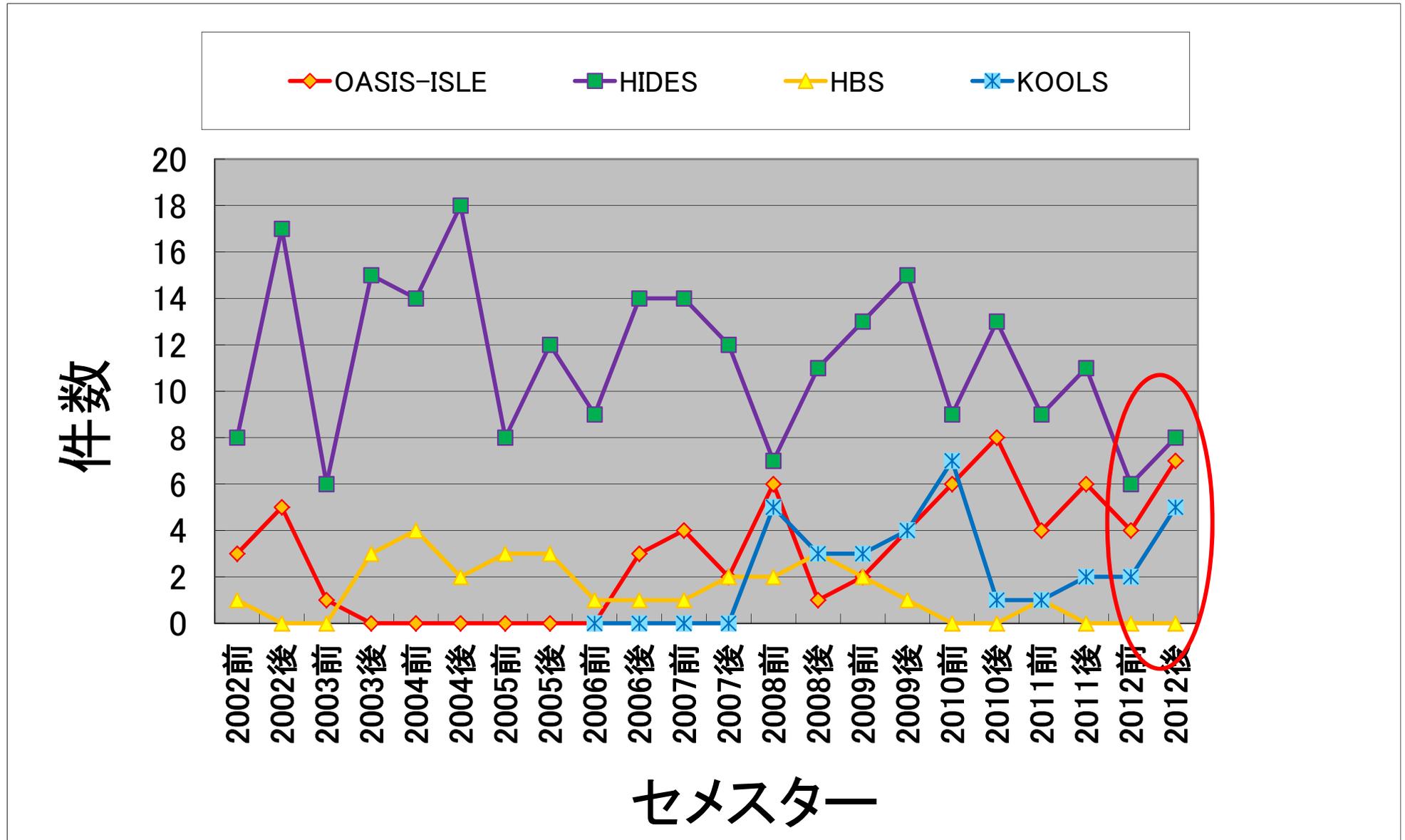
共同利用申請夜数と採択夜数

夜数競争率～1.8倍(平均)

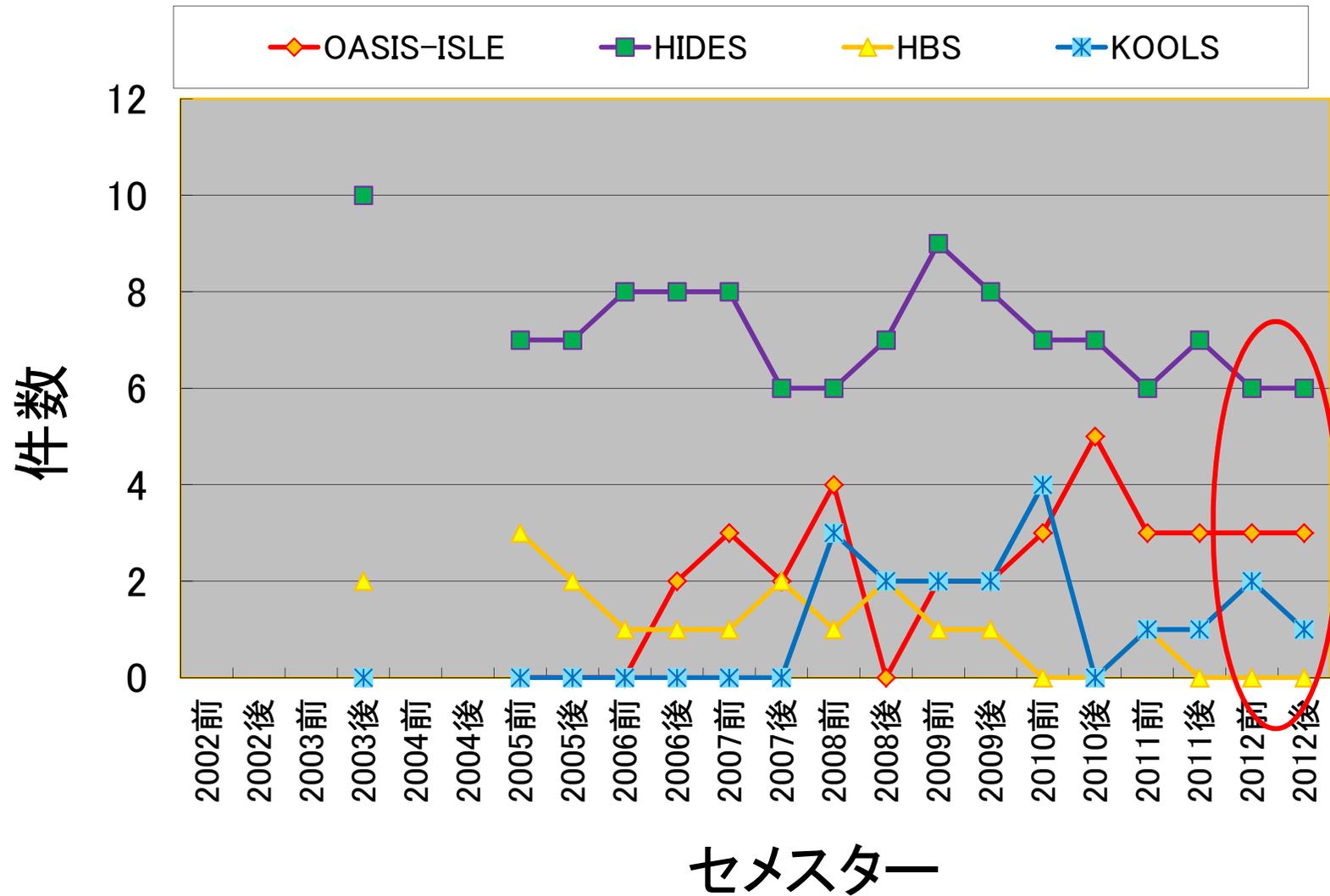
前期に低い傾向



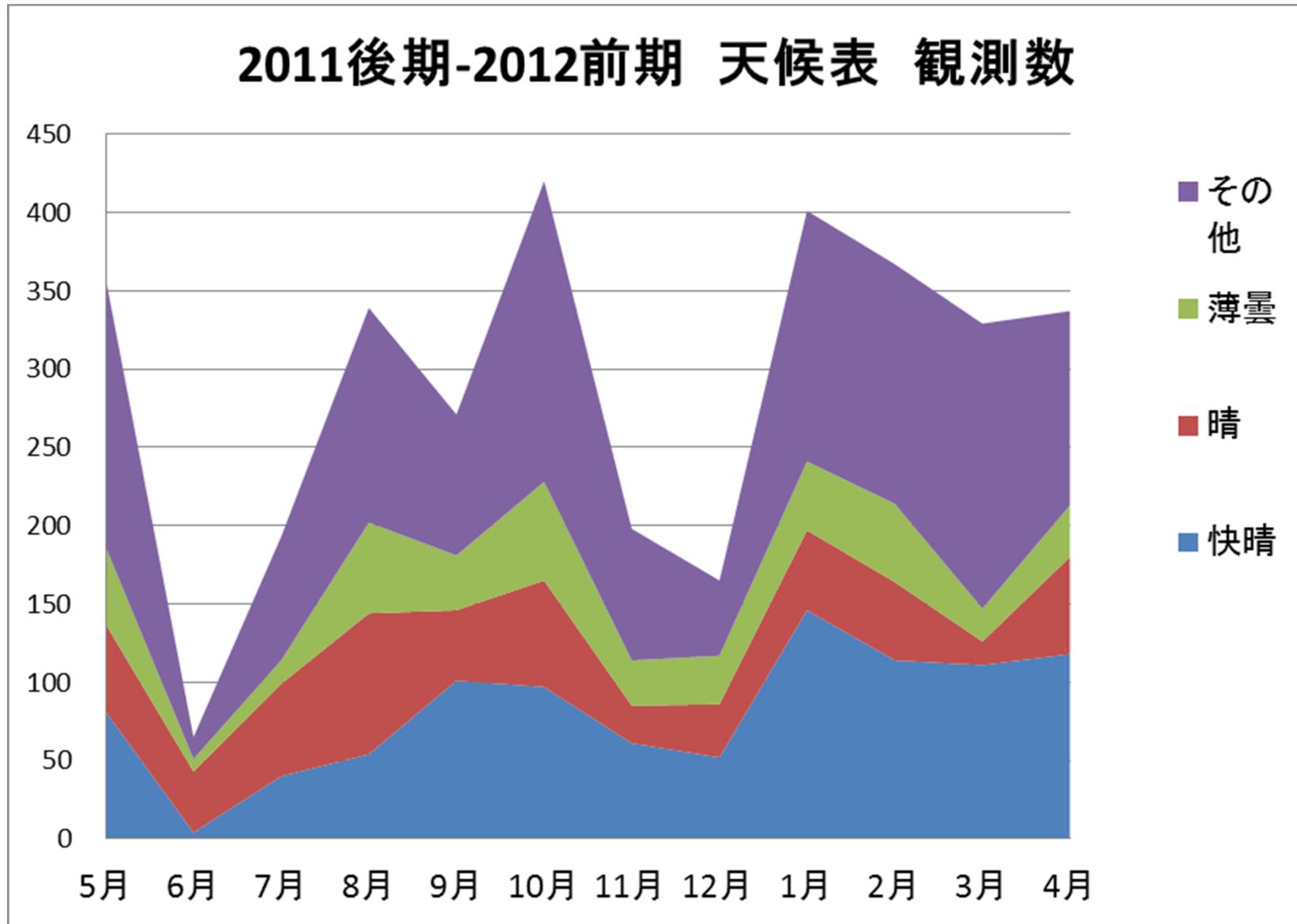
装置別申請件数



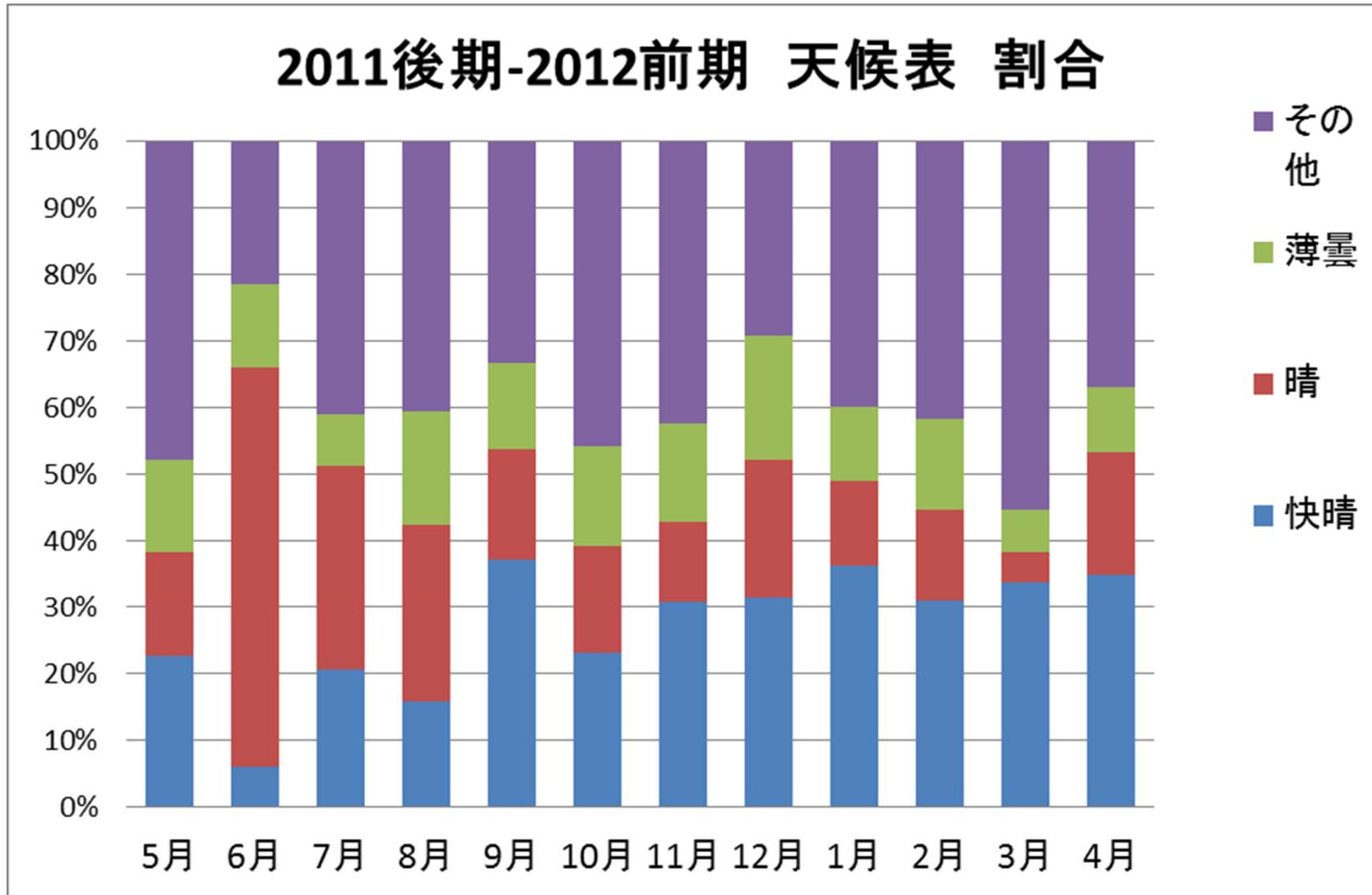
装置別採択件数



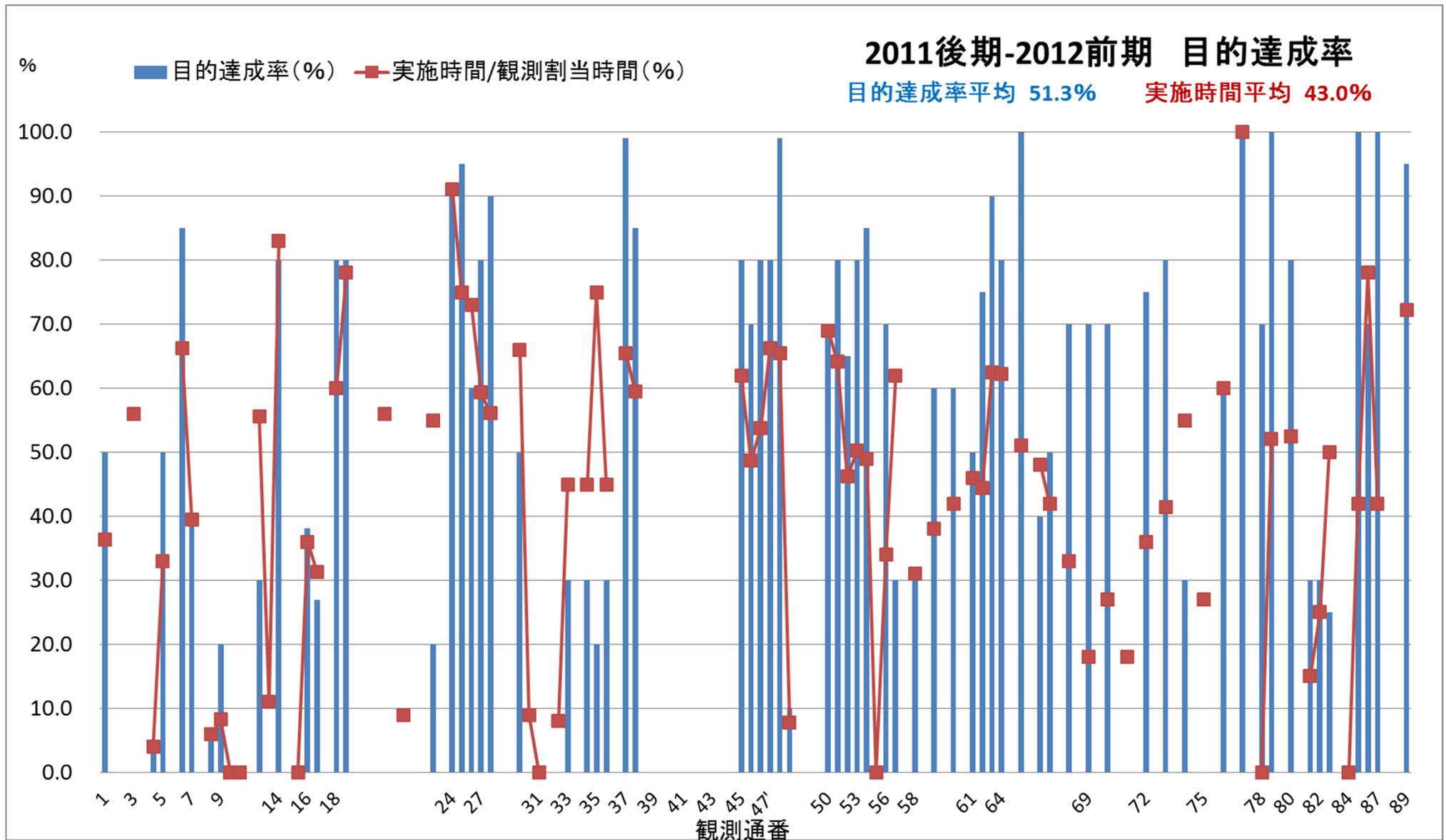
夜間天候(時間数)



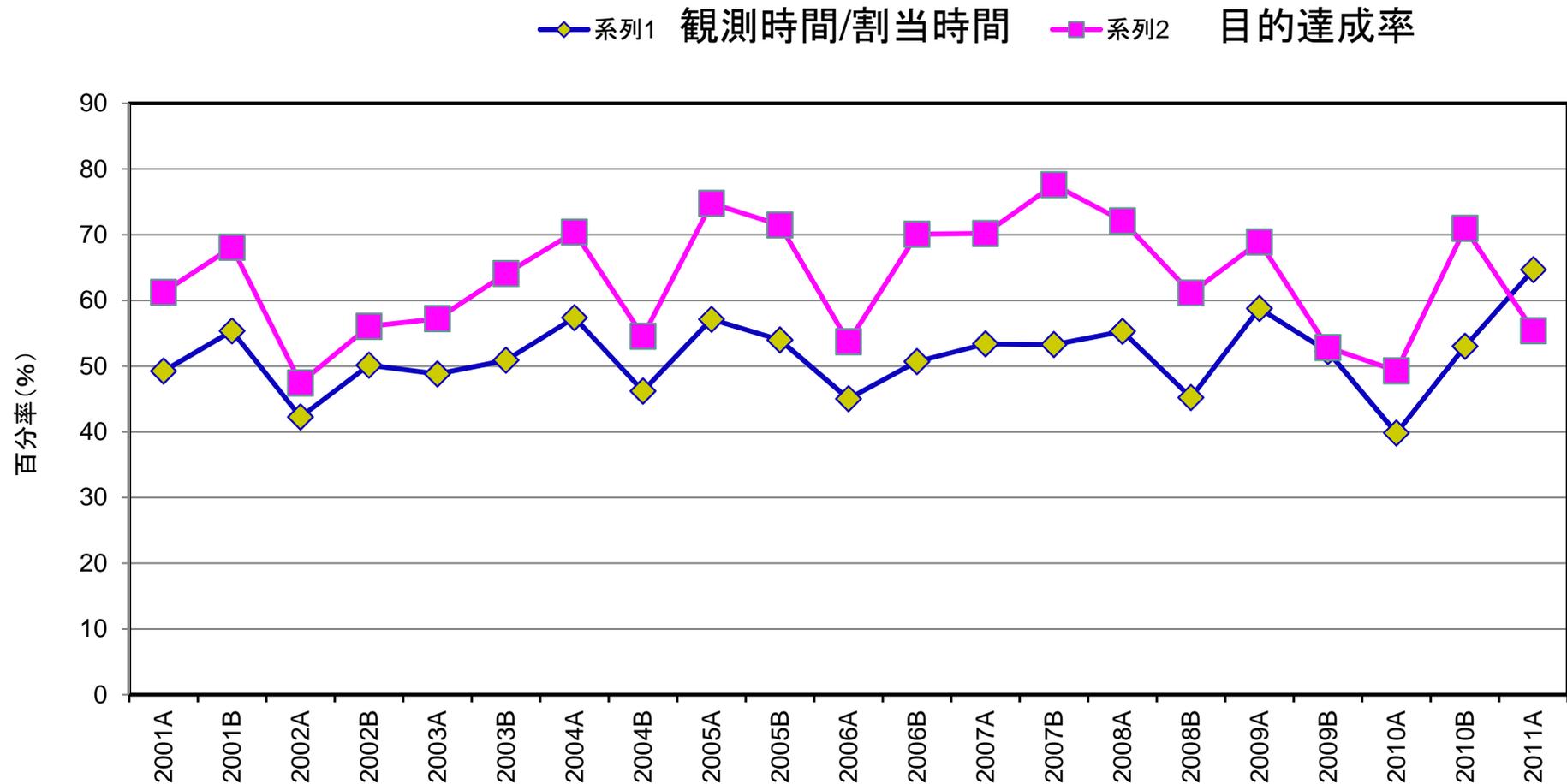
夜間天候(割合)



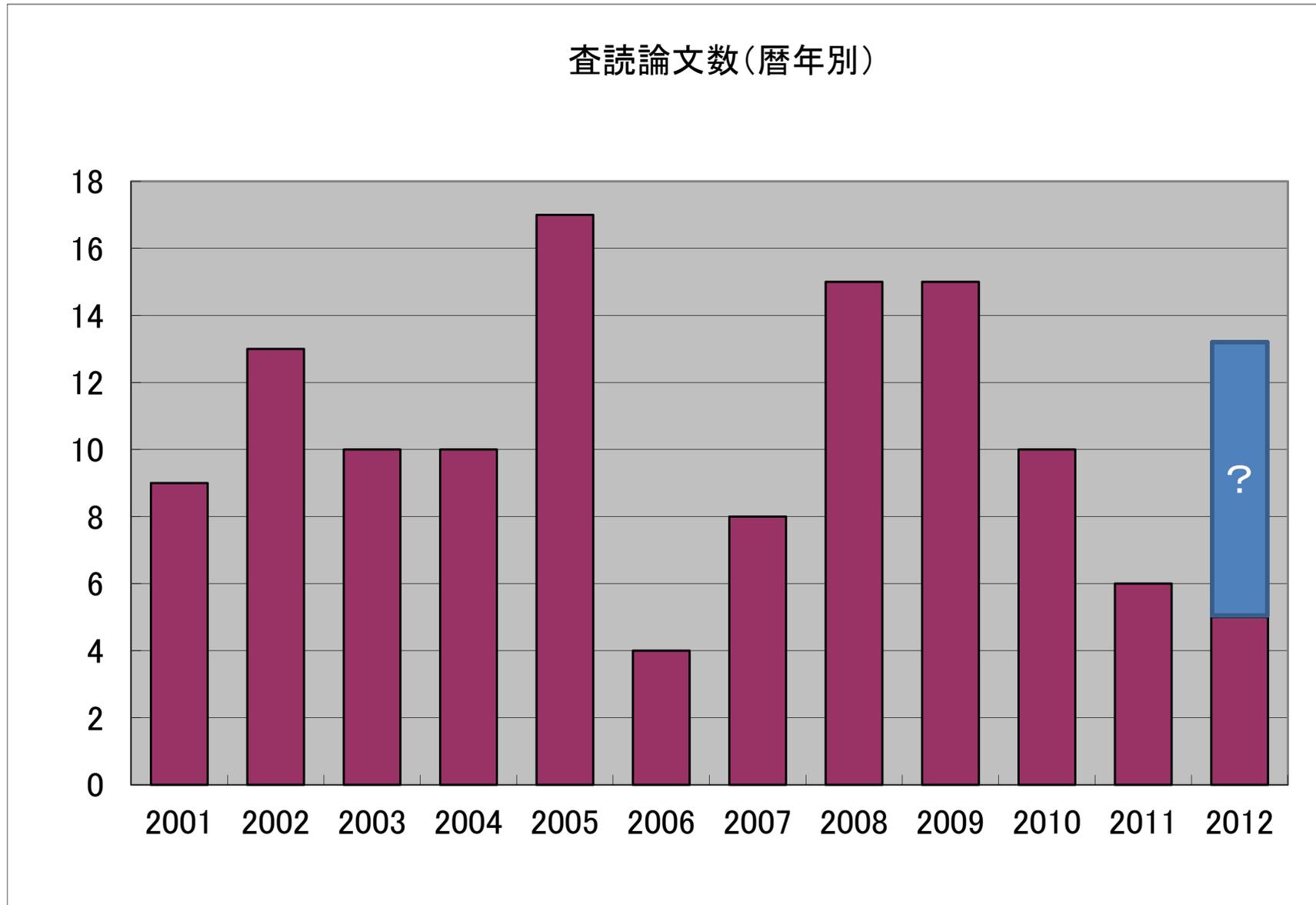
目的達成率



過去の目的達成率の変化



共同利用成果(暦年)



2011年9月以降の188cm望遠鏡ドームの保守状況

by 神戸栄治(OAO/NAOJ)

主な工事

- スリットワイヤー巻上機軸受部の補強 2011.9
- ブラインドの復旧工事 2012.2
- 上下扉ガイドレールのメンテナンス 2012.2, 2012.6
- 見学室の天井交換 2011.9
- 雨漏り対応・対策
 - ガラリ塞ぎ 2011.9, 2012.6
 - 巻上機床周辺部等ドレイン工事 2011.8~11
 - 歩廊、内壁側面コーキング 2012.2
- 歩廊手摺補強工事 2012.2
- 各部の塗装 2012.2~3

- 188cm望遠鏡ドーム電源調査 2012.3
- キュービクル、耐雷トランス容量アップ 2012.3

ブラインド(ウィンドスクリーン)の落下事故と復旧作業

- 2011.12.24朝、観測者がブラインドを上昇中に、ガイドレールからブラインドが外れ落下。ワイヤーがドーム内に垂れ下がる
- この日は、とりあえず垂れたワイヤーを外し、観測できるようにする



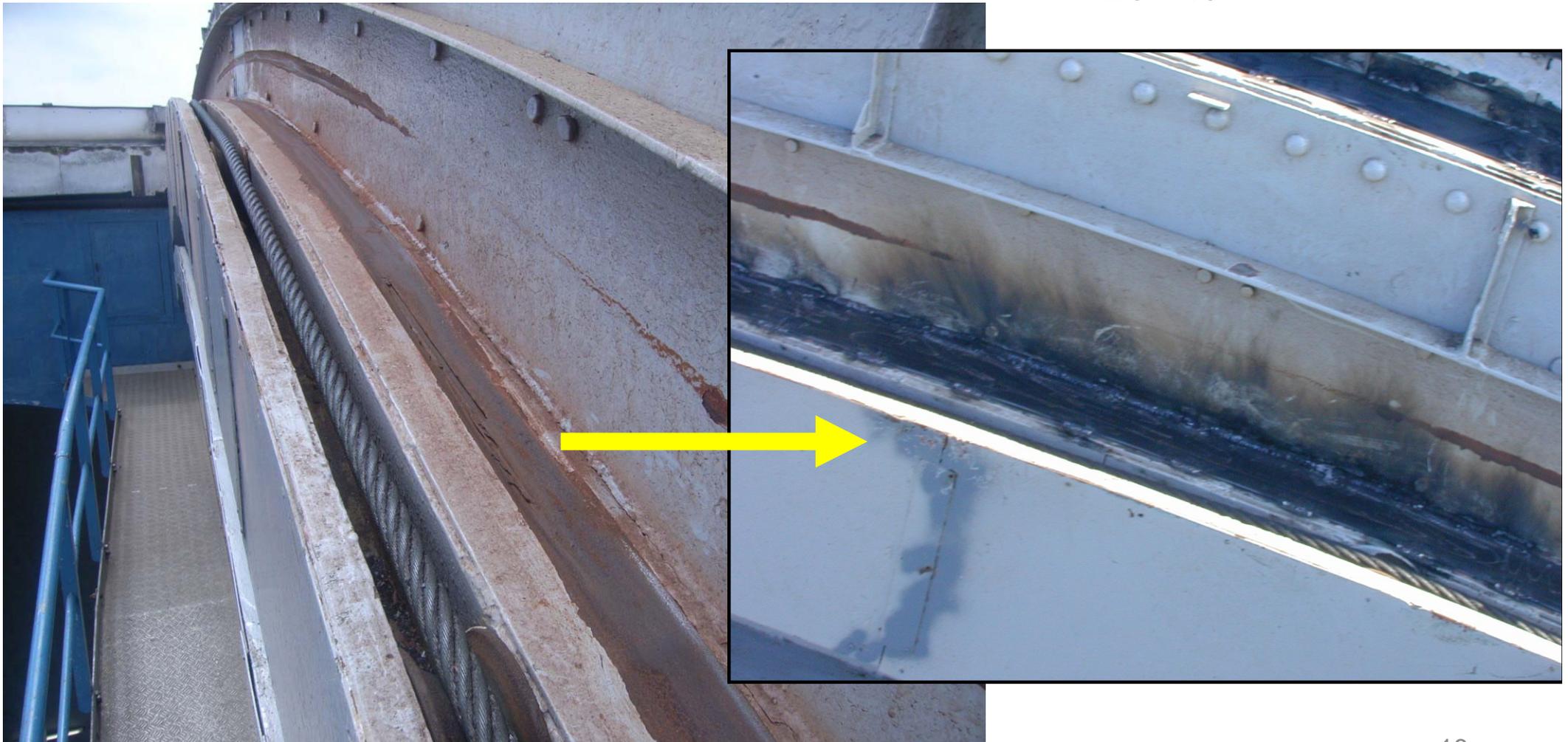
- 復旧工事(2011.2.15~17;他工事含む)
 - 25tクレーンで吊ったりしながら、アームをレールに戻す
 - アームの曲がりの修正
 - ブランドヒンジの補修とグリース塗布
 - ワイヤーロープの新替
 - 落下原因の推測(特定)と改修
 - 格納部レールの修正



上下扉ガイドレールのメンテナンス

概要:2011.6にスリットガイドレールの補修作業(3t板貼り付け)を行ったが、急速に変形・割れが生じている部分(格納部入口)があるため、その部のメンテナンスをしている

2011.6



キュービクル、耐雷トランス容量アップ



夏に動力電源が落ちていたのので



キュービクル: 50kVA → 100kVA
耐雷トランス: 30kVA → 60kVA
ただし主ブレーカーは35kVA(175A)のまま

今後の工事他予定

- スリットワイヤー交換工事 2012.9.5～9.12
- ドーム制御系の更新 2012.1～2012.3



91cm望遠鏡(WFC) (by台長留め置き金)



共同利用係からのお願い

- 岡山観測所webページのビジターズガイドをよく読んでください。初めて来る方は勿論、よく観測所に来られる方も細かい変更点もありますので、是非一度見直してください。
- 共同利用対応係 柳澤
- ビジターズガイドに書かれていますが、論文を発表した場合に別刷りを送って頂くのは従来通りですが、岡山での成果に基づいて、学会発表、記者発表等を行う場合にも是非観測所にお知らせください。